

## プロフィール (2021年3月31日現在)

|         |               |
|---------|---------------|
| 社名      | 株式会社千葉銀行      |
| 設立      | 1943(昭和18)年3月 |
| 本社所在地   | 千葉市中央区千葉港1-2  |
| 従業員数    | 4,168人        |
| 発行済株式数  | 815,521千株     |
| 総資産     | 17兆7,958億円    |
| 預金      | 14兆1,045億円    |
| 貸出金     | 11兆2,064億円    |
| 資本金     | 1,450億円       |
| 総自己資本比率 | 連結12.79%      |
|         | 単体12.09%      |

※ 諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

# 2021

ミニ・ディスクロージャー誌  
2021年3月期 営業のご報告

## Contents

- 1 新会長・新頭取メッセージ
- 3 第14次中期経営計画  
「NEXT STEP 2023  
～未来へ、つながる・超える～」
- 5 ちばぎん本店ビルのご紹介
- 7 トピックス
- 8 株式の状況
- 9 2021年3月期 業績のご報告

## 裏表紙

ちばぎんグループのご紹介  
店舗・ATM ネットワーク



取締役会長・グループCEO  
**佐久間 英利**



取締役頭取・グループCOO  
**米本 努**

## ごあいさつ

2021年6月25日をもちまして、会長に就任した佐久間英利と、頭取に就任した米本努です。これからも「お客さま第一主義」を念頭におき、地域のお客さまとしっかりと向き合いながら、二人三脚で当行のさらなる発展に努めていく所存です。

## 新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、先行きは不透明な状況が続いています。

当行は、影響を受けたお客さまに対する資金対応や、経営課題の解決に向けたサポートに継続して取り組んでいきます。

## 中期経営計画に基づく取組み

昨年4月にスタートした第14次中期経営計画のビジョンに掲げる、「金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による『カスタマー・エクスペリエンス』の向上」の実現に向けた取組みを進めています。

個人のお客さまには、当行との日常の取引チャネルとなる「ちばぎんアプリ」を

全面リニューアルし、機能や利便性を大幅に向上させました。また、テレワークの進展に伴う千葉県内の住宅ローン需要の高まりに対しても柔軟に対応しています。

法人のお客さまには、コロナ関連融資などで資金繰り支援を積極的に行ったほか、アドバイザリー業務など課題解決型の提案営業を強化しています。

その他、Visaブランドのデビットカードの取扱いを開始し、先行して始めていた加盟店サービスと併せて地域におけるキャッシュレス決済の浸透を図っています。

## 他行連携の強化と 新事業への挑戦

当行では、他行との連携強化や新事業・新サービスの創出にも力を入れています。

「TSUBASAアライアンス」においては、昨年7月に「TSUBASAアライアンス株式会社」を設立し、新事業領域や共通部門の集約によりプラットフォーム化を進めています。昨年12月には群馬銀行が加わり、参加行は10行となりました。

武蔵野銀行との「千葉・武蔵野アライアンス」は、本年3月に5周年を迎え、新

5か年計画を策定しました。新たなフェーズでは、デジタル領域における協業やバックオフィス業務などの共同化・共通化領域の拡大、人材交流の促進などを図っていきます。

横浜銀行との「千葉・横浜パートナーシップ」では、国内外の企業に対する協調融資など法人部門での協業のほか、個人の資産運用業務において保険商品を共同開発しました。

新事業・新サービスの分野では、本年4月より、法人のお客さまのデジタル化を支援する「ICTコンサルティング業務」の取扱いを開始しました。お客さまの事業の生産性向上に向け、業務プロセス上の課題を抽出し、ITツールを活用した解決策を提供します。

5月に新設した当行全額出資の地域商社「ちばぎん商店株式会社」では、ECやクラウドファンディングの運営、地域ブランド商品の企画開発などをつうじて、同社をハブとする地域内での経済循環システムの構築を目指します。

この他、「TSUBASAアライアンス」で連携する第四北越銀行や中国銀行、および野村ホールディングスと、個人のお客さまにリモートで金融コンサルティングサービスを提供する合併会社設立の検討を開始しました。

いずれの取組みもお客さま起点での新しいサービスを提供していくことで、ビジネスチャンスにつなげていきたいと考えています。

## DX（デジタル・トランスフォーメーション）戦略の推進

デジタル化に向けた取組みはお客さま向けサービスだけでなく、業務効率化や働き方改革などあらゆる面で進めています。

定型事務をロボットが代行するRPAの活用範囲を広げているほか、本年4月に中国銀行と「TSUBASA汎用ペーパーレ

スシステム」の共同開発に着手しました。銀行窓口での各種手続きについて、受付から後続処理、記録・保存まで完全なペーパーレス・印鑑レスの実現を目指しています。

昨年9月に完成した新本店ビルでは、デジタル化などに対応した最新設備を導入したほか、全本部職員にモバイル端末を配布することにより、テレワークなどの効率的かつ柔軟な働き方を実現しました。

今後も、デジタル改革部を中心にグループのDX戦略の3つの柱である、「ビジネスモデルの変革」「ワークスタイルの変革」「人事戦略の変革」を進めることで、カスタマー・エクスペリエンスと生産性の向上の実現を目指していきます。

## サステナブルな経営の実現に向けて

将来の環境変化にも揺るがないサステナブルな経営の実現に向け、各種取組みを進めています。

特に、ESGへの対応は、企業経営そのものとして捉えています。昨年11月に、環境保全に対する当行グループの取組姿勢を掲げた「ちばぎんグループ環境方針」を制定したほか、「脱炭素」に向けたサステナブル・ファイナンスを一層推進していきます。

また、新たな発想を生み出す企業風土を醸成するため、女性活躍などダイバーシティの推進にも積極的に取り組んでおり、引き続き、性別や世代を問わず「働きやすく、働きがいのある」職場づくりを目指して環境整備を進めていきます。

これからも地域とともに歩み続け、いつの時代もお客さまに選ばれ続ける銀行を目指してまいります。

今後ともご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

## 第14次中期経営計画

# NEXT STEP 2023 ～未来へ、つながる・超える～

2020.4.1 ▶ 2023.3.31

- 当行グループが果たすべき使命は、「お客さまや地域社会のパートナーとして最新の金融サービスを提供し、地域経済の持続的な発展に貢献する」ことであるとの認識のもと、本中期経営計画では、従来の銀行の枠組みを超えて、お客さまや地域と深くつながり、ともに未来への歩みを進めていくことを目指します。
- 前中期経営計画で構築した経営基盤を土台として、従来からの取組みをさらに深化させるとともに、地域金融機関の枠組みにとらわれない新たな取組みを積極的に行っていきます。

## ビジョン

金融機能の深化と地域金融の新たなモデル構築による、  
「**カスタマー・エクスペリエンス**」の向上

## 基本方針

|          |                    |           |                          |            |             |           |                 |
|----------|--------------------|-----------|--------------------------|------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>I</b> | お客さまに寄り添い共に進化し続けます | <b>II</b> | お客さまの未来のために新たな価値を創造し続けます | <b>III</b> | 提携戦略を高度化します | <b>IV</b> | サステナブルな経営を実現します |
|----------|--------------------|-----------|--------------------------|------------|-------------|-----------|-----------------|

## 主要計数項目

| 項目                  | 2023年3月期<br>(目標) | 2020年3月期<br>(実績) | 2021年3月期<br>(実績) |
|---------------------|------------------|------------------|------------------|
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | <b>600億円</b>     | 480億円            | 496億円            |
| 連結ROE(株主資本ベース)      | <b>6%台半ば</b>     | 5.67%            | 5.65%            |
| OHR(単体)             | <b>50%台前半</b>    | 54.61%           | 55.00%           |

## 新規施策

### 「ちばぎんビジネスポータル」の提供開始(2021年4月)

事業者向けの新たなデジタルチャネルとなる「ちばぎんビジネスポータル」には、登録口座の残高や入出金の動きをグラフで一覧表示できる機能や、お客さまと行員がチャットで対話できる機能を搭載しています。また、事業活動に有益なさまざまな情報を定期的に配信していくほか、今後も順次機能を拡張しながら、将来的には事業者と当行をつなぐあらゆるサービスのハブとなることを目指していきます。

#### 【ちばぎんビジネスポータル画面イメージ】



### 地域商社「ちばぎん商店(株)」の設立(2021年5月)

当行100%出資により、地域商社「ちばぎん商店(株)」を設立しました。

ちばぎん商店(株)では、異業種パートナーと連携しながら、EC（電子商取引）や購入型クラウドファンディングの運営、地域ブランド商品等の企画開発などをつうじて、同社をハブとする地域内の経済循環システムの構築を目指していきます。

#### 【ちばぎん商店(株)の事業概要】



商品開発支援

販路開拓支援

プロモーション  
支援

① EC 運営事業

② 購入型クラウドファンディング運営事業

③ 地域ブランド商品等の企画開発及び販売事業

④ 上記に付帯する各種イベントの企画及び運営事業

# ちばぎん本店ビルのご紹介

昨年9月に完成したちばぎん本店ビルは、「既存の枠組みを超え、新たな金融企業



## 地域社会との共生

地域のお客さまに親しみを持っていただきビジネス創出の拠点となるよう、新たな交流拠点となる施設を設置しました。



**◀大ホール**  
大規模な会議のほか、演奏会や講演会を行うことができます。  
災害発生時には一時滞在施設として提供します。



**◀本店営業部**  
「伝統・品格・先進・未来」をコンセプトに新古融合した店舗デザインとなっています。  
なお、お客さまの来店目的に応じてエリアを分けています。

ちばぎん金融資料室▶  
～FinTERRACE～ ※  
資料や映像展示により  
当行と金融の歴史や、  
発展を遂げてきた千葉  
県の姿をご紹介します。



ちばぎんコワーキング▶  
スペース～PORT～ ※  
地域のスタートアップ  
企業支援、企業同士の  
共創コミュニティや  
ビジネスマッチングの場  
を提供します。



※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、一般利用を見合わせています。

大海原を進む帆船をモチーフとしており、  
グループとして未来に歩みを進める」という強い想いを表現しています。

## 働き方改革による生産性向上

機能的かつ職員同士のコミュニケーションが  
活性化できるよう執務環境を整備しました。



### ▲ワークプレイス

グループごとのフリーアドレスを採用しています。デスクの配置を「ヘキサゴングリッド」とし、さらに各階を内階段でつなぐことによって部署間の往来をやすくしています。



### ▲フリーエリア

「Borderless × Timeless」をコンセプトとし、フロアや部署が異なる職員同士が自由に交わることで、新しい価値を創造できる空間となっています。



### ▲ナレッジセンター

約1万冊の書籍を収蔵することができ、幅広い分野の書籍を取りそろえ、職員向けに貸出しも行っていきます。

## BCPの強化

防災拠点や拠点病院と同等の耐震  
グレードSランクを実現しました。



### ◀災害対策室

55インチ、18画面のマルチディスプレイを設置し、大規模災害発生時の対策本部として機能します。

### 基礎免震▶

揺れを低減する基礎免震構造を採用しています。



## 環境への配慮

自然エネルギーの活用や省エネルギー化の促進などにより、  
建築環境総合評価システム (CASBEE) でSランク相当の性能を有しています。

環境負荷を低減しつつ、快適なオフィス環境を維持するための「ダブルスキン構造」や「放射空調」の活用に加え、使用する水の95%は地下水を利用するなど自然エネルギーを有効活用しています。

ちばぎん本店ビルについては、旧本店の取り壊しと一部外構工事を行っており、グランドオープンは2023年を予定しています。

## トピックス

### TABLE FOR TWO (TFT) を導入

SDGsに貢献する取組みの一環として本年1月より、ちばぎん本店ビルの食堂にTABLE FOR TWO (TFT) を導入しています。

TFTとは、「先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが食事を分かち合う」というコンセプトのもと、対象のヘルシーメニューを注文すると、途上国の給食1食分に当たる20円が寄付される食料支援プログラムです。当行では職員の健康増進にもつながることから、積極的な利用を呼びかけています。



【TFTヘルシーメニュー一例】

### 移動店舗車を新たに導入

BCP（業務継続体制）強化の一環として、本年2月、新たに移動店舗車を導入しました。ATMと窓口機能を搭載しており、大規模自然災害の発生時など有事の際も入出金や振込みのほか、口座開設、税金の納付、公共料金の支払いなど幅広いお取引にご利用いただけます。



【移動店舗車外観】

### 「千葉・武蔵野アライアンス」の新5か年計画を策定

本年3月、当行と武蔵野銀行の包括提携「千葉・武蔵野アライアンス」は5周年を迎え、両行は2025年度までの新5か年計画を策定しました。新たなフェーズでは、「Create」「Match」「Advance」をコンセプトに、新たな事業やサービスを創出、進化させることで、お客さまの利便性向上や地域社会の発展につながる提携施策を展開していきます。

#### 【新5か年計画の概要】

|    | ビジョン                    | 地銀連携のフロントランナー   | 進化した地方銀行      |
|----|-------------------------|---|---------------|
| 施策 | <b>C</b> 新領域での連携        | デジタル化への対応<br>(アプリ等)                                       | 新規事業の創出       |
|    | <b>M</b> 共通化・共同化の加速     | 事務共同化・共通化領域の拡大  | キャッシュレス事業での協業 |
|    | <b>A</b> これまでの取組みの継続・深化 | 証券・アセット・共同営業など既存施策の強化<br>シンジケートローン・協調融資<br>ノウハウ共有・人材交流の促進 |               |

# 株式の状況

## 株式の所有者別状況

2021年3月31日現在

| 区分        | 株主数<br>(人) | 所有株式数<br>(単元) | 割合<br>(%) |
|-----------|------------|---------------|-----------|
| 政府・地方公共団体 | 3          | 98            | 0.00      |
| 金融機関      | 78         | 3,462,463     | 42.48     |
| 金融商品取引業者  | 35         | 184,893       | 2.27      |
| その他法人     | 1,226      | 1,191,136     | 14.61     |
| 外国法人等     | 546        | 1,534,677     | 18.83     |
| 個人その他     | 28,059     | 1,777,265     | 21.81     |
| 計         | 29,947     | 8,150,532     | 100.00    |

- (注) 1. 1単元の株式数は100株です。なお、上記の他、単元未満株式は467,887株となっております。
2. 自己株式72,603,717株は「個人その他」に726,037単元、単元未満株式に17株含まれております。なお、自己株式72,603,717株は株主名簿上の株式数であり、期末日現在の実質的な所有株式数は72,602,717株です。
3. 「その他の法人」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が10単元含まれております。

## 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

## 定時株主総会

毎年6月

## 基準日

定時株主総会の議決権：毎年3月31日

期末配当：毎年3月31日

中間配当：毎年9月30日

## 公告方法

電子公告

(当行ホームページ <https://www.chibabank.co.jp/>)  
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

## 株式事務取扱場所

株主名簿管理人・事務取扱場所

〒103-8202

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

お問い合わせ先 ☎0120-707-843

## 大株主上位10名

2021年3月31日現在

| 株主名   | 所有株式数<br>(千株) | 発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する<br>所有株式数の割合(%) |
|---|---------------|--------------------------------------|
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社(信託口)                   | 68,577        | 9.23                                 |
| 株式会社日本カストディ銀行<br>(信託口)                        | 33,344        | 4.48                                 |
| 日本生命保険相互会社                                    | 26,870        | 3.61                                 |
| 第一生命保険株式会社                                    | 26,230        | 3.53                                 |
| 損害保険ジャパン株式会社                                  | 18,537        | 2.49                                 |
| 明治安田生命保険相互会社                                  | 18,291        | 2.46                                 |
| 住友生命保険相互会社                                    | 17,842        | 2.40                                 |
| 株式会社三菱UFJ銀行                                   | 17,707        | 2.38                                 |
| STATE STREET BANK AND<br>TRUST COMPANY 505223 | 14,507        | 1.95                                 |
| 株式会社日本カストディ銀行<br>(信託口7)                       | 11,195        | 1.50                                 |

- (注) 1. 上記の他、株式会社千葉銀行名義の自己株式72,602千株があります(株主名簿上は、株式会社千葉銀行名義となっておりますが、実質的に所有していない株式1千株を除く)。
2. 所有株式数は千株未満を切り捨てております。
3. 発行済株式総数に対する所有株式数の割合は小数点第3位以下を切り捨てております。

## 株主優待制度

対象株主 毎年3月末現在、1,000株以上を1年以上継続保有の株主さま\*

制度内容 以下の3コースより、いずれかをお選びいただけます。

※「1,000株以上を1年以上継続保有」の確認につきましては、毎年3月末および9月末の当行株主名簿に、同一株主番号で1,000株を下回ることなく連続して3回以上記録されることといたします。

### ① 千葉県特産品コース

千葉県の特産品等を掲載したカタログからお好みの商品をお選びいただけます。

### ② 寄付コース

SDGsに貢献する取組みを行う団体や基金のなかから寄付先をお選びいただけます。

### ③ TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース

第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、群馬銀行の地元特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。

| 優待基準                    |                                   |
|-------------------------|-----------------------------------|
| 1,000株以上<br>10,000株未満保有 | ①③特産品 (3,000円相当)<br>②寄付額 (3,000円) |
| 10,000株以上保有             | ①③特産品 (6,000円相当)<br>②寄付額 (6,000円) |

## 2021年3月期 業績のご報告

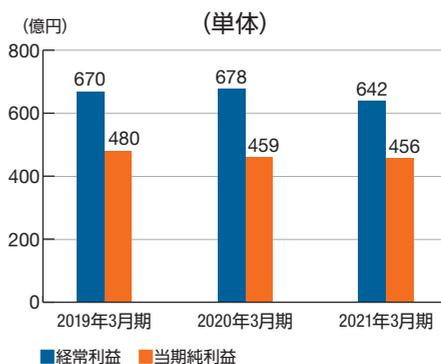
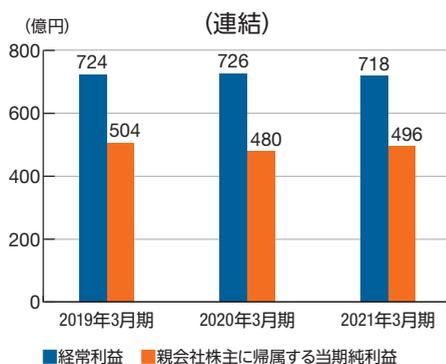
2021年3月期は、連結経常利益が前期比7億円減少の718億円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比16億円増加の496億円となりました。

総自己資本比率は、連結で12.79%、単体で12.09%となりました。

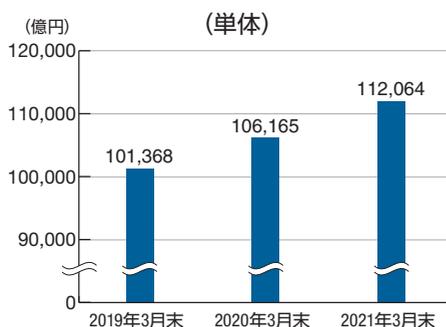
貸出金は、前期末比5,899億円増加の11兆2,064億円となりました。そのうち、事業者向け貸出が前期末比4,771億円増加、住宅ローンが前期末比1,037億円増加しました。

預金は、個人預金の増加などにより、前期末比1兆3,155億円増加し14兆1,045億円となりました。

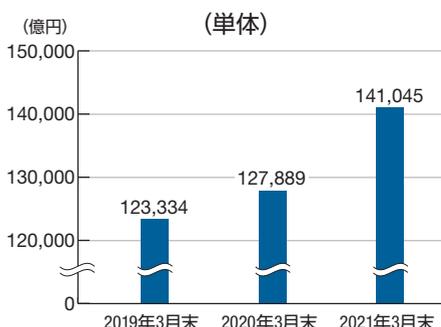
### 損益の状況



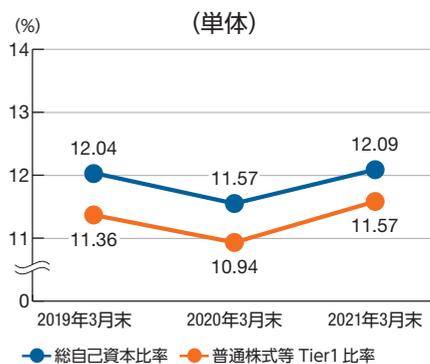
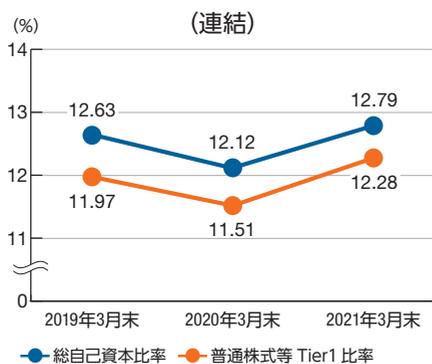
### 貸出金の状況



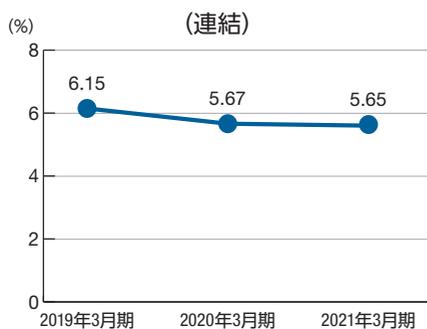
### 預金の状況



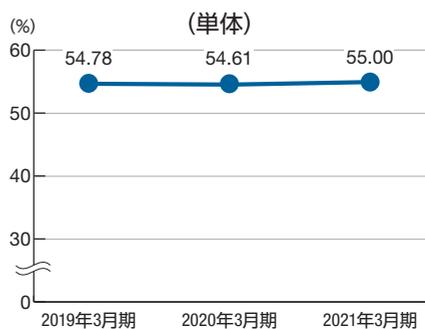
## 自己資本比率の状況



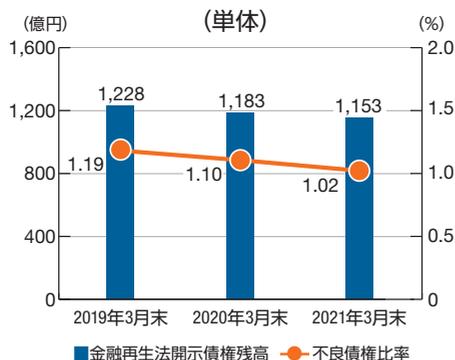
## ROE (株主資本ベース)



## OHR



## 金融再生法開示債権



## 格付け

|             | 長期  | 短期  |
|-------------|-----|-----|
| ムーディーズ      | A1  | P-1 |
| スタンダード&プアーズ | A-  | A-2 |
| 格付投資情報センター  | AA- | —   |

(2021年6月1日現在)

## ちばぎんグループのご紹介

2021年5月に地域商社「ちばぎん商店」が加わり、グループ会社は15社になりました。

これからもグループの総合力を活かして、お客さまのニーズに合わせた最適なソリューションを提供してまいります。

### リース・ベンチャーキャピタル

ちばぎんリース  
ちばぎんキャピタル

### 調査・コンサルティング

ちばぎん総合研究所  
ちばぎんコンピューターサービス  
T&Iノベーションセンター

### 信用保証・債権管理

ちばぎん保証  
ちば債権回収

### 証券・資産運用

ちばぎん証券  
ちばぎんアセットマネジメント

### 業務受託・職業紹介

ちばぎんキャリアサービス  
ちばぎんハートフル  
総武

### クレジットカード

ちばぎんジェーシービーカード  
ちばぎんディーシーカード

### 地域商社

ちばぎん商店



## 店舗・ATM ネットワーク (2021年3月31日現在)

### 店舗数

|          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| 県内       | 160店舗 (うち、特別出張所5、出張所14、仮想店舗3)         |
| 県外       | 23店舗 (東京都14・出張所1、大阪府1、埼玉県3、茨城県3・出張所1) |
| 海外       | 3店舗 (ニューヨーク、香港、ロンドン)                  |
| 海外駐在員事務所 | 3か所 (上海、シンガポール、バンコク)                  |
| 両替出張所    | 3か所                                   |

### ATM

|                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| 自行店舗外現金自動設備        | 300か所 (うち、県内294か所)      |
| イーネットとの提携による共同ATM  | 12,213か所 (うち、県内565か所)   |
| セブン銀行との提携による共同ATM  | 23,820か所 (うち、県内1,367か所) |
| ローソン銀行との提携による共同ATM | 13,448か所 (うち、県内555か所)   |

当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会 連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

ちばぎんをもっと近くに、もっと便利に。



ちばぎんとお客さまを結び  
身近な窓口のご紹介です。

※こちらのQRコードを読み込んでください。

ちばぎんアプリ



LINE



Facebook



ちばぎんビジネスポータル



## 株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<https://www.chibabank.co.jp/>

2021年6月発行

